

広島大学総合博物館第10回企画展 「人と自然ー今、ネイチャーへ」
における参加者アンケートの結果

実施日：2015年10月30日ー11月14日

対象者：来場者

回答枚数：466枚（回収率45.4%）

1) 回答者の属性

1. 性別

男性	250
女性	214

2. 年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代以上
88	140	55	60	74	47

3. 住まい

東広島市	広島県内	広島県県外
306	117	41

2) 企画展について

1. この企画展はいかがでしたか

とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった
212	249	3	0

2. 展示会場にはどれくらい滞在されましたか

10分未満	20分程度	30分程度	45分程度	1時間以上
60	215	121	33	32

3. この展示によって、広島大学が行っている研究内容について理解できましたか

よく理解できた	理解できた	理解できなかった	全く理解できなかった
103	341	16	0

4. スタッフの対応はいかがでしたか

とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった
244	217	0	0

5. クロスワードはいかがでしたか

とても面白かった	面白かった	あまり面白くなかった	全く面白くなかった
124	196	6	0

6. 展示パネルの内容をどの程度ご覧になりましたか

よく読んだ	読んだ	あまり読んでいない	全く読んでいない
78	267	56	1

3) 企画展への感想やご意見があればお聞かせください。

- ・学内の取り組みだけではなく、里山や地域文化についても考えさせられる企画だったことが良かったです。
- ・エコミュージアムとヨダレカケの展示が今まで知らなかったのが面白かった。
- ・魚の研究 in 口永良部島の情報を詳しく知りたかったので、とてもよかった。魚の分類(目、科あたりまで)示されていると尚よかったと思う。
- ・賀茂台地エコミュージアムの展示が、これからの東広島市 (のこどもたち) のことを考える参考になりました。
- ・口永良部島の詳しいお話が聞かれてとても興味を持った。手つかずの自然が日本の中にもいろいろあるのだろう。又、南の固有種にまだ研究されていないものも多いのではと思った。
- ・日本史先攻だが、ここではじめて螺鈿の意味を知った。
- ・今まで広大が口永良部島で何を行っていたかをすべてを全く知らなかったのが、詳しい知ることができて良かったです。文系だと理系がどんなことをしているのか想像をつかないので、その一端に触れられて良かったです。
- ・ヨダレカケという陸上で産卵を行う魚がいることを初めて知ったので勉強になった。
- ・写真をたしなんでいるので、水中カメラの展示は興味があった
- ・地元について取り上げた記事があったので、聞き覚えのあるトピックではあったけど興味深かった
- ・ヨダレカケの模型がとてもよくできていた
- ・山村の狩猟民具に興味深く見てもらいました
- ・ツキノワグマの迫力があって、「クマのネコパンチ！」にもクスリとしました
- ・ヨダレカケについてももう少し分かりやすい説明があるとよかったです(どうやって呼吸しているのか知りたかった)
- ・チラシの地図を見てきたのですが、場所が分からなくて、着いたときにはくたびれてしまいました。途中で案内板でもあれば…
- ・クマの毛皮があっぴゅりしました
- ・剥製や貝など、視覚で直接確認できるとインパクトがあり、頭に残りました。
- ・剥製・模型などの展示がイメージする良い材料であったと思う。原寸大の写真などを背景に用いると、より理解しやすいかもしれない。
- ・広島土砂災害を遺跡分布からみでたり、何が絶対に正しいという視点ではなく、問いかけるような形であったこと。
- ・丁寧な解説をして頂き、ありがとうございました。魚の不思議な生態の一部を学びとるこ

とができました。

- ・オオサンショウウオって世界の人が見にくるほどの人気をなんですね！私も実物を見てみたくなりました。東広島近辺には興味があれば自然里山を親しみ、保全活動か教育活動を行えるような基盤って割とあるのかもなった展示を見て思いました。ヨダレカケもかわいかったです。日頃知らないけど、広島にもおもしろい自然はあるんだな、それに支えられた、生活か文化ってあるんだな、おもしろかったです。
- ・クロスワードがあることで、企画展をより楽しめた。
- ・水産研究における広島大学の歴史がわかったので、特に良かった。
- ・他の会場での開催をしても良いのではないか（内容がよいため）
- ・熊狩の展示が良かった。
- ・実際に展示物にかかわった人から話が聞けたことが良かった。
- ・テーマの設定に流れがあって理解しやすかった。
- ・いろいろな分野の研究を知ることができて良かった。
- ・人との関係性が分かりやすかったです。
- ・クロスワードにつながるのですが、展示パネルの感じにルビがあればもっと分かりやすかったと思います。特に人名、地名、専門用語になると読み方が分からなくて読みに力を入れなければなりませんでした。
- ・広島大学で行われている研究、それぞれの地域におけること等知ることができて楽しかったです。
- ・自然だけでなく民俗学も取り上げていたのがとても面白かった。
- ・字が多いと高齢にはつらい。絵や写真を多くして幼児～高齢まで楽しめる工夫を期待します。
- ・クロスワードは結構難しかったです。清水先生や学生スタッフの方の力を借りながらなんとか解くことができました。
- ・クマの展示コーナーが面白かった。マタギとの違い、昔の狩猟との変化など。研究機関である広大が行うことに意味がある展示物だと感じました。
- ・去年の土砂災害等身近なテーマが良かった。
- ・難しくてもおもしろかった。
- ・子連れも楽しめる展示や体験できるものがあってよかったです。
- ・クロスワードのおかげで説明をして頂いたので、よく分かりました。ヨダレカケのDVDも説明を加えて見せていただいたので、よく分かりました。
- ・広大の博物館は勉強になることがたくさんあると感じた。
- ・動物の剥製もすごいと思ったし、クロスワードを解くためにパネルを読んだので勉強になりました。
- ・展示が見やすかったです。
- ・確かにクロスワードだと内容を詳しく読む。

- ・ 地元に興味がありました。
- ・ 広島土砂災害は実家の近くでの出来事であったため、興味深く読ませていただきました。
- ・ 地名などは、すべてのパネルで振り仮名をつけてほしい
- ・ 剥製を見る機会がほとんどなく、名前を知っている生物をそばで見ることができた。
- ・ 知らない世界を知ることができた。
- ・ 実物や模型の展示もたくさんされていたので分かりやすかったし、案内してくださった学生さんの説明も丁寧で、好感をもてました。
- ・ クマの毛皮とか剥製を子供はおもしろそうに見ていた。
- ・ クロスワードを楽しみながら行うことができました。
- ・ 楽しく学べました。ただ展示してあるよりずっと効果的でした。
- ・ 文字数が多く、せっかくの写真や図表が見にくかったのが気になりました。
- ・ 異種混群についてのパネルと尾白川の熊狩りパネルがとても勉強になりました
- ・ もう少し宣伝してほしい。
- ・ 熊の毛皮など実物が多く、見ていて飽きなかった。
- ・ 生活の身近な場に広島大学が存在しています。学生主催の祭りなどのイベント時には時々よりも、あまり研究のことなどは知らずにいました。博物館の企画イベントが時々あるのはチラシで知りますが、なかなかいけないことが多いです。今回は、東広島市、広島県、広島大学など、自分のごく身近なところにある自然、生物、生活、災害など、いろいろなことを楽しく、学ぶことができ良かったです。
- ・ 魚類などの水も生物については、元から興味があったので、口永良部島の海の生物の生態についての展示が興味深かった。また、異種間のつながり、異なる生物による群体などは、とてもおもしろかった。その生態の特徴がわかったので、良かったと思う。
- ・ 動物の剥製などとてもはく力があってびっくりしました。パズルをすることによって、とても理解できました。
- ・ クロスワードは興味をもたせるきっかけになりよかったです。
- ・ 海洋研究をする上での苦労など研究の様子が聞けて面白かったです。
- ・ 入ってすぐに動物がいるのでインパクトがすごい、クロスワードのおかげでパネルもきちんとよめたし、たのしかったです。
- ・ 全ておもしろかったです。
- ・ 夜光貝を触らせてもらえたのが良かった。自分の研究領域とは全て違う分野に触れることができよかったです。